

16 財務会計の概念フレームワーク

総論

財務報告の目的

会計情報の質的特性

財務報告の構成要素

財務会計における質的特性

- 17 会計方針の開示、会計上の変更及び誤謬の訂正
- 18 金融商品会計
- 19 連結会計
- 20 持分法会計
- 21 包括利益の表示
- 22 関連当事者の開示
- 23 読み方、理解の仕方のポイント
- 23 外貨換算会計
- 24 スtockオプション
- 25 固定資産の減損
- 26 棚卸資産の期末評価
- 27 工事契約
- 28 退職給付会計
- 29 資産除去債務
- 30 税効果会計
- 31 企業結合
- 32 事業分離等
- 33 キャッシュフロー計算書
- 34 四半期財務諸表
- 35 セグメント情報
- 36 1株当たり当期純利益
- 37 収益認識

概念セット数

3

☆☆☆☆意思決定有用性を支える2つの特性			
	意思決定との関連性	②P	これを支える下位概念は2つ
	信頼性	②P	これを支える下位概念は3つ
☆☆☆☆意思決定有用性の一般的制約2つ			
	内的整合性	②P	会計基準が「基本的な考え方」と整合しているということ。
	比較可能性	②P	時系列比較や企業間比較ができる、ということ。
☆☆☆☆認識に関する制約条件			
	認識の契機	②P	契約の履行 か（既に計上済みの項目の)価値変動
	認識に求められる蓋然性	②P	要するに「確からしさ」

概念フレームワーク全体について、「全体像」の図を頼りに掴んでください。

認識と測定の一覧は下記のとおりです。

☆☆★★★ 測定値の意味 資産				具体例
取得原価				固定資産
市場価格	購買市場/売却市場 区分なし			売目有価証券
市場価格	購買市場/売却市場 区分あり	再調達原価		棚卸資産
市場価格	購買市場/売却市場 区分あり	正味実現可能価額		棚卸資産
割引価値	将来CF/割引率 とともに継続的改訂	利用価値		固定資産の減損
割引価値	将来CF/割引率 とともに継続的改訂	市場価値推定		デリバティブ正味資産
割引価値	将来CFだけを継続的改訂			貸倒懸念債権 正味CF法
入金予定額				売掛金
被投資企業の純資産に基づく額				持分法

☆☆☆☆ 測定値の意味 負債			具体例
支払予定額			買掛金
現金受入額			前受金
割引価値	将来CF/割引率 とともに継続的改訂	リスクフリーレート	退職給付債務
割引価値	将来CF/割引率 とともに継続的改訂	リスク調整後割引率	－
割引価値	将来CFだけを継続的改訂		資産除去債務
割引価値	将来CF/割引率 とともに改訂しない		社債
市場価格			デリバティブ正味債務

☆☆☆☆ 測定値の意味 収益		具体例
交換に着目		売上
市場価格の変動に着目		売目有価証券の評価益
契約の部分的な履行に着目		受取利息
被投資企業の活動成果に着目		持分法投資損益

☆☆☆☆ 測定値の意味 費用		具体例
交換に着目		売上原価
市場価格の変動に着目		売目有価証券の評価損
契約の部分的な履行に着目		支払利息
利用の事実に着目		減価償却費